No.43
2017.06

桜友同窓会報

山形県立楯岡高等学校
山形県立東桜学館高等学校

ごあいさつ

同窓会長 中澤健一

同窓会員の皆様には、益々ご健勝でお過ごしのこととお喜び申し上げます。

また、日頃からのご支援とご協力に対しまして、この場をお借りして厚く感謝申し上げます。

さて、楯岡高等学校を母体とした県内初の中高一貫校「山形県立東桜学館中学校・高等学校」が東根市に開校して1年を過ぎました。県内産の木材を使った新校舎、最新の機器を備えた数々の設備など、素晴らしい環境の中で後輩諸君が学習や部活動に取り組んでおります。同窓会では昨年、会報を全同窓会員に送付しました。今年も引き続きご覧いただきたいと思いますが、来年からは経費の関係で、節目の学年に送付することになります。

また、今回運営協力金のご協力をお願いしましたところ、多くの方々から賛同いただきました。ご芳名は会報に記載させていただきました。ほんとうにありがとうございました。楯岡高等学校時代には、購買部の収入がありましたが、現在は新会員の会費及び入会金のみで運営しております。今後とも経費の節減に努め、会員の親睦と母校の事業の支援に努めてまいりますので、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

なお、今年は楯岡高等学校の創立から97年目を迎えました。節目の100周年をどのような形で迎えるのか、今後会員の皆様のご意見をいただきたいと思います。

新たな歴史を刻むべく

校長 官宏

桜友同窓会の皆様には、本校の教育活動に対して、日頃から温かいご支援とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

県立楯岡高等学校95年の歴史を引き継ぎ、県内初の併設型中高一貫教育校として新たな挑戦を始めてから一年が経過しました。

この間、基本理念である「高い志」「創造的知性」「豊かな人間性」、そして、生徒諸君の「自分たちが新たな歴史を開く主役となる」という気概のもと、諸先輩方が築いてこられた歴史に新たな一ページを刻むことができました。

また、昨年11月19日、多数のご来賓のご臨席のもと開校記念式典を挙行いたしました。会場となった北アリーナには、桜友同窓会から寄贈いただきましたステージ幕が設置されるとともに、鈴木千岳副会長から揮毫いただいた「東桜魂」「千鍛万錬」の横断幕が飾られ、厳かな中にも華やかな雰囲気を醸し出していただいております。

学校行事では、2500人もの来校者で、賑わった「東桜祭」や新たに中学生が加わり、和やかな中で熱い戦いが繰り広げられた「第64回新春百人一首かるた大会」等々、すべての行事がチャレンジの連続であり、生徒諸君は正にパイオニアとして確かな第一歩を踏み出してくれました。

さらに、本年度からは、文部科学省より「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）」の指定を受け、生徒の可能性を引き出す環境がさらに充実されることとなりました。

教職員一同、本校の特色ある活動をさらに発展・充実させ、生徒一人ひとりの花びらが大きく咲き誇るよう日々努力して参りますので、今後ともご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

なお、本校の教育活動については、随時、ホームページにより情報を発信しておりますので併せてご覧いただければ幸いです。

県立東桜学館中学校・高等学校が開校しました

県立としての昇格創立以来では95年経過した楯岡高等学校が平成28年3月末日をもって幕を閉じ、これを母体とした県内初めての併設型中高一貫校、県立東桜学館中学校・高等学校が平成28年4月1日、東根市（市役所南側）に開校しました。

新校舎は工事着工（平成26年10月）から約一年半で完成。鉄筋コンクリート5階建ての校舎内部には温もりの感じられる県産木材を多用、採光と通風にも配慮してあり、特に、上層階からの月山、葉山、黒伏山方面の山々の眺望は壮観です。

内部にはICT授業が行われる情報室、蔵書数約25，000冊の学習メディアセンター、300人を収容する大講義室、2つのアリーナ（体育館）などあり、中学校入学者は6年を通して学ぶ中高一貫校としての機能や先進性を備えた校舎であります。

また、校舎の南側隣接地には平成28年11月、東根市立図書館、市美術館などが入居する文化施設「まなびあテラス」が開館し、教育環境は一層よくなりました。

開校式・入学式

開校式は平成28年4月8日、楯岡高校から進級した高校3年生、2年生計約370人が参加、体育館北アリーナで行われました。

広瀬県教育長から校旗が手渡され、官校長が「これからの時代を主体的に生きる、そういった力をつけた生徒の育成に注力したい。生徒と共に東桜学館の新しい未来に向け、一歩ずつ突き進んでいく」との開校宣言をされました。

山形市出身の作家、小川糸さんが作詞を手がけた校歌も披露され、来賓の祝辞、生徒代表のあいさつなどで門出を祝いました。

開校式終了後、入学式が行われ、新入生である高校1年生200人、一方、中学校には1期生99人が迎えられ、新入生代表誓詞では張利妃さん（中学校）と堀夏実さん（高校）が誓いの言葉を述べ、299人が新たな一歩を踏み出しました。

中学校の第1期生99人は県内一円の小学校6年生265人が挑んだ入学者選抜試験で見事難関をパスした皆さんでありました。

なお、平成29年度の入学式は4月7日に行われ、高校では201人、中学校では99人が入学いたしました。

新入生代表誓詞は、工藤愛礼さん（中学校）と矢作美結さん（高校）の2人が述べました。

開校記念式典

平成28年11月19日、13時から本校体育館北アリーナで全校生徒（667名）に加え、県、関係市町、関係小・中・高等学校等の教育機関、PTA、同窓会、施工会社など100名を超す来賓参加者のもと、本校主催の開校記念式典が行われました。

官校長からは、これまでの関係者からの支援協力への感謝とともに、本校の基本理念である「高い志」、「高い創造的知性」、「豊かな人間性」に基づき、次代を担う有為な人材を育成すべく教職員一丸となり努力していきますとのあいさつがありました。

細谷副知事、野川県議会議長の来賓の祝辞に続き、地元の土田東根市長からは本校への期待や地元市としての協力など力強いエールをいただきました。

また、校章制作者の和崎直耶氏、校歌作曲者の八木澤教司氏からも制作の意図するものなど在校生に響くあいさつをいただき、3年の小関和也生徒会長から生徒代表のあいさつ、校歌披露などで式典を終了しました。

式典のあと、記念講演として、同会場で国立情報学研究所社会共有知研究センター長　新井紀子氏による「人工知能が大学入試を突破する時代、私たちは何をなすべきか」という演題で講演がありました。

卒業式

平成29年3月1日、東桜学館高等学校第1回の卒業式が行われました。第1期の卒業生は楯岡高校で2年間、東桜学館開校初年度に3年生として1年間を過ごした体験を持つ167人の皆さん。1、2年生約400人が見守る中、希望を胸に学び舎を巣立ちました。

官校長は各クラス代表に卒業証書を授与し、式辞で「国際的な視野を持ちながらも故郷の美しく豊かな自然と文化、地域とのかかわりを大切に、1期生としての誇りを忘れず大きく羽ばたいてほしい。」とのはなむけの言葉を贈りました。

同校後援会会長の土田東根市長をはじめとする来賓の祝辞があり、在校生代表の送辞を受け、初代生徒会長を務めた小関和也さんが卒業生代表として答辞を述べました。小関さんは2つの校舎で学んだ3年間の貴重な体験を振り返り、「自分の夢を実現させて社会に貢献できるように頑張りたい」と結びました。

県立東桜学館中学校・高等学校の

Touohgakkan Junior & Senior High School / INFORMATION

基本情報

▼校名について

県内初の併設型中高一貫教育校を設置する東根市は、桜桃（さくらんぼ）の生産量日本一であることから、「東」と「桜」の二文字を組み合わせ、さらに「学館」で中高一貫の学びを表現した。

「東」は日の出の方角であり、新たな歴史の始まりを意味し、「桜」は日本を代表する花である。人間力に満ちあふれ、桜のように誰からも愛されながら、これからの新しい時代を切り拓いていく人を育てる学び舎となるよう命名した。

▼校章の由来

東桜学館の校名にちなみ、桜の花をモチーフとし、おしべと花びらで中高一貫教育校における子どもたちの成長を表現した。

ふるさと山形で学び、将来は日本や世界を舞台に、一人一人がそれぞれのステージで花開く姿をイメージした。

製作：ナオヤ氏（本名、和崎直耶氏）

▼校　歌

作詞　小川　糸（いと）氏
作曲　八木澤教司（さとし）氏

一、大地うるおす　雫を集めて
流れる水面は　雲を映す
光と希望と　愛を力に
いつか優しい　花になりたい

二、はるかな緑　神々の息吹
命を育む　このふるさと
夜明けのしじまを　かけぬけながら
未来はばたく　風になりたい

三、われらの友よ　輝ける友よ
涙をこらえて　歩いた道
永遠の誓い　胸にだきよせ
つばさ広げて　今　飛びたとう

同窓会副会長　鈴木千岳氏（楯高旧職員）

同　鈴木千岳氏

▼本校の教育の特色

①学校教育目標

1 地域社会及び国際社会の発展に貢献しようとする**高い志**を育てる
2 豊かな感性や探究心と論理的な思考力を基盤とした**創造的知性**を育てる
3 心身ともに健やかで、郷土愛と公共の精神に富む**豊かな人間性**を育てる

②特色ある教育

1 キャリア教育の充実
2 総合的な学習の充実
3 理数教育の充実
4 国際理解と外国語教育の充実
5 道徳・健康教育の充実

※以上は、学校作成資料の中から抜粋させていただきました。

東桜学館中学校生徒の出身市町村内訳

（第1学年、第2学年計、男96人、女102人、計198人）

平成29年4月現在

卒業小学校所在市町村名	生徒数（人）	構成比（%）	卒業小学校所在市町村名	生徒数（人）	構成比（%）
東根市	79	39.9	河北町	5	2.5
天童市	37	18.7	大石田町	4	2.0
山形市	31	15.7	新庄市	4	2.0
村山市	16	8.1	上記以外県内6市町及び県外2府県　計	10	5.1
尾花沢市	6	3.0			
寒河江市	6	3.0	合　計	198	100.0

資料：学校要覧

同窓会総会

平成28年8月6日（土）
甑葉プラザ
「甑葉ホール」

同窓会総会

今回の当番幹事は、いそご会（昭和55年3月卒）、久遠会（平成9年3月卒）の皆さん、大変尽力いただきました。卒業50年に当たる招待学年は椎の実会（昭和41年3月卒）の皆さんで46名参加、総会・懇親会には招待学年も含め167名の参加となりました。

総会は、いそご会の金澤久実さんが司会進行。加藤由紀子副会長の開会のあいさつで開始。校歌斉唱では、いそご会の土屋　学氏が指揮をとり「さくら並木の」を高らかに歌いました。

中澤会長のあいさつでは、旧楯岡高校を母体とした東桜学館中学校・高等学校が4月に開校し新たな歩みを始めたこと、また、同窓会報については、平成28年版同様、29年版も全員配布をすることとしていること、運営協力金への協力のお願いなどがありました。

官校長からは、特に、同窓会から新校に対してのステージ幕、応援横幕などの贈呈など日頃の支援に対する感謝とお礼、県内初の併設型中高一貫校が開校し教職員全員、一丸となり進めていることなどの紹介がありました。

続いて議事に入り、いそご会の犬飼　亨氏が議長を務め、協議の結果、いずれも承認されました。その中で、主なものは次のとおりです。

①同窓会の新名称を「桜友同窓会」とすること。
②同窓会の役員規程と役員任期（4年から3年に）の変更、同窓会に新たに事務局を置くことにする等を内容とする会則を変更すること。
③平成28年度事業計画、同会計予算。
④同期会開催祝い金の創設（申請があれば一同期会年1回、10，000円の祝い金）のこと。
⑤役員改選のこと。

最後に、鈴木千岳副会長の閉会のあいさつで総会は終了しました。

同懇親会

総会後の懇親会は、引き続き金澤さんが司会進行。本校吹奏楽部による「校歌」、「コンサートマーチ、テイクオフ」、「桜の歌」の演奏で幕を開けました。

当番学年幹事代表　いそご会の小玉　裕氏、中澤同窓会長あいさつ、招待学年代表の結城正憲氏のあいさつと続き、椎の実会の担任であった西塚常弥先生、湯村正宏先生の両恩師からも当時の懐かしい話をいただきました。

招待学年全員での歌の合唱などで盛り上がり、最後に参会者全員で「学び舎の春」を斉唱、同窓会顧問　斎藤新一氏の発声による万歳三唱、次年度当番学年代表の戸津雅弘氏あいさつで閉会となりました。

平成29年度 同窓会案内

期　　日　**8月6日**（日）10：30～13：30
会　　場　**甑葉（しょうよう）プラザ**　村山駅東口から北方へ徒歩数分
会　　費　**3,000円**　問い合わせは事務局へ
当番学年（幹事）
　甑励会（昭和56年3月卒業）　永遠会（平成10年3月卒業）
招待学年　**禄悉会（昭和42年3月卒業）**

※なお、平成30年度以降の同窓会総会開催日は8月の第一土曜日となる予定であります。
　来年度は平成30年8月4日（土）の予定、招待学年は白鷺会（昭和43年3月卒業）であります。
※東京支部総会…平成29年秋以降開催予定（東桜学館高等学校のホームページを参照ください）

平成28年度同窓会運営協力金へのお礼と平成29年度同協力金へのお願い

楯岡高等学校の閉校、東桜学館中学校・高等学校の開校に合わせて、昨年度と今年度の2回、同窓会報の全員配布事業（昭和26年3月卒以降の卒業生を対象）を実施いたし、このなかで、桜友同窓会運営協力金への協力のお願いもさせていただきました。

この結果、平成28年度の桜友同窓会運営協力金については、平成29年6月6日現在、同窓生、旧職員合せて434名（ご芳名は7ページに記載）の皆様から、運営協力金として129万8000円、部活動支援金として65万6000円、合わせて195万4000円の寄付協力をいただきました。母校への想いと協力に対し改めて感謝とお礼を申し上げます。

運営協力金は会報の全員配布事業（1回当たり約260万円）に充当させていただき、一方、部活動支援金は学校とも相談し母校の部活動の推進発展のため有効に使用させていただきたいと考えております。

同窓会の運営に当たっては、近年、収入面で限定的になってきていることもあり、できるだけ経費の削減に努めつつ、こうした新しい取組みや母校への支援事業など実施してきているところであります。

会員の皆様には、本協力金の趣旨にご理解をいただき、今年度についても、できるだけ多くの方々からのご協力、ご支援をいただきますようお願いを申し上げます。

Topics & News

卒業生の進路状況

分類		平成27年度（平成28年3月、楯岡高校）卒業生（人）			平成28年度（平成29年3月、東桜学館高校）卒業生（人）		
		男子	女子	合計	男子	女子	合計
進学	国立大学	25	9	34	15	10	25
	公立大学	11	7	18	4	3	7
	私立大学	32	48	80	32	43	75
	国公立短大	2	8	10	1	12	13
	私立短大	0	4	4	0	2	2
	看護・医療系専門学校	4	15	19	3	18	21
	看護・医療系以外の専門学校	7	4	11	1	8	9
	職業訓練校	2	0	2	2	0	2
	進学合計	83	95	178	58	96	154
就職	公務員	4	1	5	3	1	4
	民間	1	7	8	1	2	3
	就職合計	5	8	13	4	3	7
その他	海外留学等・防衛大学校	0	0	0	0	0	0
	その他（浪人等）	1	1	2	4	2	6
	その他合計	1	1	2	4	2	6
合計（卒業人数）		89	104	193	66	101	167

桜友同窓会贈答品・平成27年度決算の概要

桜友同窓会より東桜学館中学校・高等学校へ
２種類の応援旗を寄贈させて頂きました。

収入

科目	決算額	適用
入会金・会費	1,990,000	10,000円×平成28年3月卒195名、過年度4名
収入・繰越金	1,424,663	購買部から繰入れ、利子、繰越金
計	3,414,663	

支出

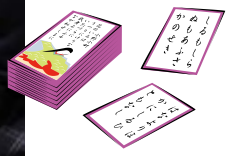
科目	決算額	適用
事業費	400,111	総会費、支部助成金、表彰費
雇用費	1,373,900	購買部・同窓会事務
積立金、諸費・予備費	1,539,572	記念事業、母校後援、退職手当、諸費、予備費
計	3,313,583	

収入　3,414,663円－支出　3,313,583円＝101,080円は、平成28年度に繰越

新春百人一首かるた大会

平成29年1月12日、楯岡高校からの伝統を引き継いだ第64回大会（第1回大会は昭和29年1月開催）が開催されました。今年から中学生も参加、教職員とともに5人一組のチームをつくり、古今集ブロックなどの5ブロックごとにトーナメント戦で優勝を競いました。きらびやかな十二単風の衣装の放送部の女子生徒が読み手を務め、今年も熱戦を繰り広げました。

平成28年度後期の生徒会活動のスローガンは「継往開来」、前人の業績を引き継ぎ、未来への途を切り拓くというような意味だそうですが、ボランティア活動などにも多くの生徒が参加していると聞いており、この四字成語の如く、伝統が継承され、時代に即する心豊かな人材を養成する中心教育校として発展していってほしいものです。



同窓会入会おめでとう

平成28年度同窓会入会式は平成29年2月28日㈫、東桜学館北アリーナで行われました。

中澤会長から歓迎のあいさつとともに、入会記念品として、全員に楯岡高校の校歌等が入っているCDを贈呈いたしました。

楯岡高校で2年間学び、特に東桜学館では3年生として、後輩をリードしてきた167名の皆さんのこれからの活躍を期待しています。

建桜会（けんおうかい）167名

会長　小内　翔
副会長　加島拓朗
クラス役員
1組　瀬野暢宏
2組　東海林結花
3組　笹　廣祐
4組　加島拓朗
5組　小内　翔

出身市町村別状況

平成28年4月の東桜学館中学校・高等学校の開校により、北村山地区では北村山地区県立高校再編整備計画（平成22年1月策定）に基づく3校（うち1校、中高一貫校）体制が平成28年度よりスタートをしている。東桜学館高校は平成31年度には、同中学校からの進学もあり、生徒の出身市町村は大幅な変動が予想される。このようなこともあり、スタート年度の在籍生徒の出身市町村別状況を地区内の2校とともに見てみた。

中学校所在市町村	当該市町村の中学校卒業生、平成26、27、28年3月、各3か年卒業生の合計（人）	うち高等学校等進学者（人）（A）	東桜学館高等学校（東根市）開校　平成28年4月　入学定員　200名			村山産業高等学校（村山市）同　平成26年4月　同　200名		北村山高等学校（尾花沢市）同　昭和62年4月　同　160名		3高等学校合計	
			在籍生徒数（人）（B）	構成比（%）	（B）／（A）（%）①	在籍生徒数（人）	構成比（%）	在籍生徒数（人）	構成比（%）	在籍生徒数（人）（C）	（C）／（A）（%）②
村山市	703	698	103	18.1	14.8	104	19.7	32	10.1	239	34.2
東根市	1,306	1,301	185	32.5	14.2	176	33.4	61	19.2	422	32.4
尾花沢市	437	435	47	8.3	10.8	50	9.5	90	28.2	187	43.0
大石田町	222	220	23	4.0	10.5	29	5.5	39	12.3	91	41.4
北村山管内計	2,668	2,654	358	62.9	13.5	359	68.0	222	69.8	939	35.4
天童市	1,841	1,822	139	24.4	7.6	104	19.7	10	3.1	253	13.9
河北町	554	549	42	7.4	7.7	23	4.4	4	1.3	69	12.6
新庄市・最上郡	2,335	2,322	16	2.8	0.7	5	0.9	81	25.5	102	4.4
山形市	7,117	7,079	12	2.1	0.2	34	6.4	—	—	46	0.6
上記以外			2	0.4		3	0.6	1	0.3	6	
在籍生徒合計			569	100.0		528	100.0	318	100.0	1,415	

備考：表の見方　①については、各市町村の中学校卒業生全体（但し、高校等進学者）のなかで、東桜学館高校にどのくらい入学しているかのデータであり、例えば、村山市の場合、中学校卒業生のうち14.8%が入学。②については、同様に、上記地区内3校に合せてどのくらい入学しているかのデータであり、例えば、尾花沢市の場合、中学校卒業生のうち43.0%がこの3校に入学していることを示している。

資料：・在籍生徒数等（各校とも4月現在）は平成28年度各高等学校の学校要覧より、東桜学館中学校の在籍生徒（第1学年99人）は含まず。
・市町村別中学校卒業者数は平成26、27、28年各年の山形県学校基本調査報告書

「楯岡高校校舎の今」

楯岡高校は、平成28年3月末日をもって閉校し、今年は2回目の春を迎えました。桜をはじめとする花木は今年も例年の如くきれいに咲き、緑を増してきております。

校舎のうち、グラウンドには、楯岡小学校の改築のため、楯岡小学校の仮校舎が設置され、平成28年8月の夏休み明けから小学校全員の授業が行われております。平成30年12月まで体育館とともに利用されることになっています。教室棟、管理棟、楯高会館、講堂等のほかの建物は現在のところ元のままの状態です。

桜友同窓会新役員紹介

任期：平成28年8月から3年間

会　長　中澤健一（昭和34年卒）
副会長　鈴木千岳（36）　加藤由紀子（40）　佐藤　直（42）　笹原幸悦（48）
顧　問　吉田　昭（27）　鳥村孝志（28）　小関廣明（29）　高橋啓介（46）　斎藤新一（33）　官　宏（校長）
評議員　各学年数名ずつ
監　事　三好真理子（39）　鈴木　悟（43）
事務局　事務局長：井澤徳夫（37）　事務局員：森谷光一（43）　安達直彦（46）　青木八栄子（49）
会報編集担当：小野孝敏（43）　原田成夫（46）
校内幹事　山口昭博（学校教職員54）　小座間ひろみ（同62）　布川清史（同62）　小林麻美（同平成8）

編集後記

母校は東桜学館中学校・高等学校として東根市に移転開校しましたが、同窓会報は第43号として、ここに発行することができました。

中高一貫校に関連して想起したことをひとつ紹介させていただきます。それは、戦後の学制改革の時期、県立楯岡高等女学校時に入学された方で、新制高校に進み卒業された皆さん（昭和24年～27年3月卒の通算4回の卒業生）も通算6年間修業されたこと。そして、その中の昭和20年度、21年度に入学された皆さんは校内の併設中学校でも履修し、多くの方は楯岡高等学校で卒業（なお、この時期の卒業生には新制中学卒で入学された皆さんもおられる。）されたことであります。

次に、本年度早々の明るいニュースをひとつ。母校は、平成29年度、国のスーパーサイエンスハイスクール事業の指定校に承認され、今後5年間、国際社会で活躍できる科学技術人材の育成をめざす各種事業に取組んでいくというものであります。

「楯高卒業して30年になるが、初めて会報が届き感激した。当時の楯高時代に戻り、胸が熱くなりました。故郷を遠く離れても母校楯高との絆を結ぶ会報は継続して全員に届くようにお願いしたい」とのお手紙も届きました。

東桜学館高校の最新の部活動等の活躍状況については、学校のホームページをご覧ください。今後、同窓会の動向、東京支部総会の開催日時も同窓会コーナーに掲載したいと考えています。

今回の編集は、同窓会事務局のメンバーがそれぞれ分担し、写真は学校職員、平喜介氏から頂き、坂部印刷㈱さんのアドバイスを得ながらまとめました。

なお、学校行事等について、一部山形新聞も参考にさせていただきました。ありがとうございました。

発行所　山形県立東桜学館高等学校内
桜友同窓会事務局
〒990-3730
山形県東根市中央南一丁目7番1号
TEL 090-2794-7502
E-mail：sakurasaku.d@docomo.ne.jp
印　刷　坂部印刷株式会社